

2016年6月2日

富士ゼロックス長崎と長崎県壱岐市の官民協働による新たな地域活性化プログラムが始動

地方創生事業「壱岐なみらい創りプロジェクト」で発案された人材育成研修プログラムを展開

富士ゼロックス長崎株式会社（本社:長崎県長崎市、社長:秋山富也）は、長崎県壱岐市（市長:白川博一氏 以下、壱岐市）と、官民協働による多様な社会課題解決にむけて、創造型変革人材の育成を目的とした研修プログラム「明日の仕事の仕方を考える研究会 in 壱岐」を、6月7日（火）～6月9日（木）に共催します。

当社と壱岐市は、昨年11月より「壱岐なみらい創りプロジェクト」を展開しています。このプロジェクトは、地方創生の一環で、観光客誘致、人口増につながる新しい産業の育成、住みやすいまちづくりを目指し、住民を中心とした対話会を通じて「みらい創り」テーマを抽出、壱岐市の未来を自ら描き創造していく活動です。今回の研修プログラムは、住民から出されたテーマの1つ「学びの島・壱岐」を具体化した取り組みです。

歩行ラリー研究会^{注1}の協力を得て、企業向けに始めたものをベースとしており、講師の一方向的な講義ではなく、国指定の特別史跡「原の辻遺跡」を舞台に、官民共同の歩行ラリーというアクティビティを通じて、組織で変革をリードするために必要な以下の3つの力を体験することを狙いにしています。

1. 「観察(See)→洞察(Think)→仮説(Plan)→実証(Do)サイクル」で仕事を進める力
社会課題や事業環境の変化が激しい現在では、経験のある事柄に対して有効な仕事の進め方である「Plan-Do-Check-Action」ではなく、企業ではお客様、自治体では住民の声や反応を十分に観察し、事実や状況を見極めることから始める「観察(See)→洞察(Think)→仮説(Plan)→実証(Do)サイクル」で仕事を進める方がより効果的と考えられています。

2. 「内発的動機」で働く力
人は自らが気づき、自らが発見することで、大きな内発的動機につながります。

3. 「集合天才」を生み出す力
自立した人々が、課題に向かって歩みよることが本来の人と人とのつながりを生み、組織力・チーム力を醸成します。

当社および当社関連会社社員と壱岐市の職員が参加メンバーとなり、研修で学んだことを仕事で活用することを通じて、サービスの向上、自己成長の同時達成を図りますが、今後、企業や自治体への本プログラムの提供に向けて、さらに壱岐市との協業を進めてまいります。

注1 歩行ラリー研究会：体感的研修プログラムを研究、展開している団体。歩行ラリーとは、各グループが「コマ地図」と呼ばれる事前に渡される「コース図」に従って進み、途中で与えられた課題を解決しながら、一定の時間で歩き、目的地を目指すレクリエーションゲームです。

<研修プログラム概要>

	8:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:30	18:30	20:00
6/7 (火)	◇福岡より移動				12:30～オリエンテーション 13:30～1回目歩行ラリー				夕食	・成績発表 ・問題点の洗い出し	
6/8 (水)	8:45～11:30 現地調査とわかった事の整理/作戦立案			昼食	12:30～15:00 2回目歩行ラリー		15:00～15:30 表彰 15:30～16:30 体験まとめ 16:30～17:30 発表		宿舎へ移動		
6/9 (木)	8:15～8:45 矢田先生講話 8:45～ チームに分かれて 課題研究(4～5人/チーム) 30分/人 計:150分 * 12:00～0.5H 昼休憩				12:30～活動計画発表 & 友情コメント 13:00 終了 会場清掃等 13:30 会場退出		郷ノ浦港 乗船		*14:20 杵岐 郷ノ浦 乗船 15:30 博多港着 * 九州郵船(高速船)		



<研修プログラム運営者>

杵岐市役所、富士ゼロックス長崎株式会社、富士ゼロックス九州株式会社、歩行ラリー研究会

◆当件に関する報道機関からのお問い合わせ先：

富士ゼロックス株式会社に関することは
 富士ゼロックス九州株式会社 広域マーケティング部 (担当 高下)
 (092)411-5011 tokuhiro.takashita@fxks.fujixerox.co.jp

杵岐市に関することは
 杵岐市役所 地域振興推進課(担当 篠原)
 (0920)48-1137 i-shinohara@city.ki.lg.jp

・Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。